

第2部 普及指導活動のツールとしての商標権の取得と支援

第2部の学習のねらい

知的財産権¹の取得・活用は普及指導活動の重要なツールである。第2部では実話にもとづき再構成した新任普及指導員の佐藤ななみの活動を描いている。この事例をもとに、知的財産権のなかでも普及指導活動の現場とつながりの深い商標権²を題材にして、その取得・活用とその支援方法を学習し、これからの活動にいかしていくことを目指す。

第2部は5つの章で構成され、1章はブランディング³との出会い、2章はブランド化のための生産と販売の体制づくり、3章はブランドを守る商標権の出願申請、4章は商標権の取得、5章は商標権を核とするブランド確立と地域活性化である。

商標権の取得と活用をめぐる、普及指導員、生産者、農協職員、弁理士らが協力し、理解を深めていく様子を学習しながら、現場の活動へいかしていく知識・技術を身につけてほしい。

主な登場人物



主な登場人物は、主人公である新任普及指導員の佐藤ななみ、その上司である普及指導課長の高橋浩一、商標権取得を目指す生産者の田中勝、生産者をサポートする農協営農係長の渡辺誠、そして、商標権などの知的財産権の申請等の実務について佐藤ななみの相談相手となる、幼馴染みの弁理士の鈴木大輔である。